

- 大会テーマ：「伝えよう図書館の力 広げよう新たな可能性」
- 分科会テーマ：「図書館の「顔」はこれでいいのか」
- 主催：静岡県教育委員会 静岡県図書館協会 静岡県読書推進運動協議会
- 会場：静岡県コンベンションアーツセンター“グランシップ”（静岡県静岡市：JR東静岡駅隣接）
- 時間：13:45～15:45（2時間＝講演30分＋事例発表30分＋対談60分）

講演と対談

# 図書館の「顔」はこれでいいのか ～魅力を伝えるホームページの条件～

仁上幸治（図書館サービス計画研究所 代表）



<目次>

第1部 講演

- 【0】はじめに
- 【1】事前アンケート結果
- 【2】ホームページ以前の問題
- 【3】ホームページづくりの基本
- 【4】ホームページの問題
- 【5】マーケティングとブランディングの視点
- 【6】結論

第2部 事例報告

掛川市立中央図書館 主任 前田宏希氏「掛川市立図書館のホームページはこう作った」

第3部 対談

- 提案
- 【6】研修を考え直す
- 【7】担当体制を作り変える
- 【8】結論

\* 仁上新刊のご案内

付録

- 1: 参考文献
- 2: 参考サイト
- 3: 講師紹介：著書・論文・講演

## はじめに

昨年の内容で覚えているのは「先生の亀」だけです。今年は亀以外のことも覚えられるようにして いただけると嬉しいです。

### 自己紹介

仁上幸治 (にかみ・こうじ)

図書館サービス計画研究所(トサケン)代表

元・帝京大学 総合教育センター 准教授

元・早稲田大学図書館司書

非常勤講師(法政大学、亜細亜大学、東京家政大学、桜美林大学、2015年度から和光大学、玉川大学)

クサガメを室内放し飼ひ

### 過去の研修会

1)2008.03.01-[講演]三島市立図書館 図書館講座 (平成19年度)「目からウロコの《超簡単》情報活用講座一人に伝える・人と繋がる・人と学ぶ」三島市立図書館

<http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/libguidecontents.html?sessionid=E370E0EBD76AF62D14CC98BE075859E0?0&pid=447>

2)2011.10.24-[講演]静岡県図書館大会 大学図書館分科会「オリエンテーションをもっと魅力的に！～すぐできる好感度アップ企画・演出術～」静岡県コンベンションアーツセンター(静岡市)

3)2015.11.9-[講演]静岡県図書館大会第1分科会「図書館サービス」

「図書館の魅力を上手に伝える～PR(パブリックリレーションズ)による味方づくり戦略入門～」

### なぜ低い？

認知度

利用率

親組織内の重要度

スタッフの労働条件

どうすればいいのか？

### 自信がない

パソコンスキル

専門知識技能

アイデア

提案力

交渉力

政治力

気力

体力

### なぜ？

習ったことがない

苦手だから

ひとり職場だから

どうせ無理

## 【1】事前アンケート結果

以下抜粋

>>全文は別紙

●事前課題アンケート結果(前田さん作成)

1-1 ホームページ運用担当者は事務職員ですか？図書館司書ですか(正規、非正規は問いません)

1-2 ホームページ担当者になったいきさつ

1-3 自館のホームページの運用体制について教えてください

- ・全体の確認ができていない
- ・他の業務を行いながら運用
- ・ホームページの改善に時間や人員を費やすことが難しい
- ・委託業者がお知らせを入力更新

2-1 自館のホームページの現状について率直な感想を教えてください

- ・システム更新のタイミング等でないと改善できない
- ・他の業務が優先
- ・現状で問題はない
- ・慣れてしまっているので、これでよい
- ・更新したばかりなので現状で満足

2-2 ホームページの現状について自慢できる点を挙げてください(担当者・運用体制を含む)

- ・スマホ完全対応に作り替えた
- ・更新が簡単にできる。
- ・小・中学校向けのおすすめ本を学校・学年別に探せる
- ・おはなし会や講座の情報が多
- ・郷土資料やデジタルライブラリー
- ・更新履歴
- ・図書館独自管理で主体的に情報発信
- ・スマホ、ガラケーなどから可能
- ・シンプルで見やすい
- ・更新頻度が早い
- ・情報発信がはやい
- ・写真が多くわかりやすい。
- ・入力更新作業が簡単
- ・担当を分担し、定期更新を行っている。
- ・特になし

2-3 ホームページの現状について困っている点を挙げてください(担当者・運用体制を含む)

- ・デザインに魅力がない
- ・古い情報を削除、訂正する役割
- ・担当以外に運用できる職員がいない。
- ・入力方法が煩雑
- ・一人よがりになっている。
- ・図書システムと連動して更新
- ・ほとんどの人が見ていない
- ・市HPは広報担当課の管理下
- ・検索機能が不十分
- ・記事の掲載までに時間
- ・整理整頓ができていない
- ・見出しの名前の付け方
- ・情報が多すぎて見にくい(重要情報が見にくい)
- ・掲載情報が古い。
- ・他の業務が優先
- ・担当者の個人的な能力に左右される
- ・費用と職員のスキル

### 3-1 Twitter や facebook 等の SNS について率直な気持ちを述べて下さい(複数回答可)

- ・自分がほとんど使わない
- ・繋がりが広がらなさそう。
- ・炎上しそう
- ・SNS の導入効果について知りたい
- ・ガイドラインをきちんと決めて行わないと
- ・利用者同士等でのトラブル予想

### 3-2 Twitter や facebook 等の SNS について図書館経営上悩んでいることを述べて下さい(記述回答)

- ・分からない
- ・セキュリティリスク
- ・著作権の問題について、判断が難しく感じる
- ・手が回らない
- ・運用知識のある職員が少ない
- ・組織のコンセンサスを取得するのが困難

### 3-3 Twitter や facebook 等の SNS を図書館ホームページで公開していますか?

### 3-4 Twitter や facebook 等の SNS を運用する際に運用基準を明文化していますか?

### 3-5 Twitter や facebook 等の SNS を運用する(書き込みをする)担当者は決まっていますか?

### 3-6 Twitter や facebook 等の SNS を公開した際のメリット、デメリットを挙げてください

- ・投稿しなくてはいけない脅迫感
- ・図書館活動が見える化するの、図書館が賑わっているように演出。結構大変。でもメリットのほうが大きい
- ・フィッシングや迷惑コメント

### SNS を公開していない図書館の方に質問です

### 3-7 Twitter や facebook 等の SNS について公開の予定がありますか?

- ・SNS の導入効果が把握できていない
- ・図書館内のコンセンサスは得ていない。

### 4 今回の研修で聞きたい一番のポイントは何か?

- ・アピールを強化するにはどうしたらよいか
- ・コアな利用者以外の一般の方に PR する方法
- ・事務的文書と HP や SNS 上で発信する際の表現の使い分け
- ・魅力的なホームページにするポイント
- ・HP 先進地、現在の傾向
- ・図書館の SNS や HP の広め方
- ・図書館のミッションって掲げていますか?
- ・一般企業、官公庁とのちがいが
- ・視覚に訴えるデザインづくり(幅広い年齢層に好まれる)。
- ・記事を作成する際のポイント
- ・誰もが魅力的に感じるお知らせの掲載の仕方
- ・インスタグラムを使った新着本紹介、イベント紹介
- ・運用上の留意点や課題
- ・ホームページの活用方法・ホームページの今後の方向性
- ・トラブルと対策
- ・担当者に求められる点

### 5 最後に、主催者へのご意見ご要望など何でもご自

### 由にお書きください。

- ・アンケートの質問が細かすぎる
- ・昨年の内容で覚えているのは「先生の亀」だけです。今年は亀以外のことも覚えられるようにして いただけると嬉しいです。
- ・これからもっと面白くなりそう
- ・図書館名を伏せて(県内外問わず)図書館 HP を事例としてあげて、評価し合ったりコンクールを開催 したら面白い
- ・システムリプレイス時に注意すべき点
- ・今後もこのような研修を続けてほしい
- ・利用者心理から みるホームページ運営のあり方
- ・組織全体の HP と図書館 HP の双方の利用者の目を引く魅力的な HP の作り方
- ・「ソーシャルメディアポリシー(SNS の企業利用に関するガイドライン)」について

### 今日の目標

図書館の「顔」はこれでいいのか  
～魅力を伝えるホームページの条件～

## 【2】ホームページ以前の問題

### ホームページ以前の問題

表現・言葉づかい  
用語・名称  
デザイン

### (1)表現・言葉づかい

#### 日本図書館協会

日本図書館協会 Twitter

[https://twitter.com/JLA\\_information](https://twitter.com/JLA_information)

日本図書館協会/JLA

@JLA\_information

東京都中央区

jla.or.jp

2009年6月に登録

### 現状

図書館のサービスおよび図書館員への資質向上とサービス改善のための活動をしています。

### 改善

図書館のサービス改善と図書館員の資質向上のために活動しています。

### (2)用語問題

#### 返却日

キハラ

<https://twitter.com/kiharalib>

<http://www.kihara-lib.co.jp/news/libwar2.htm>

守り抜く。本の返却日を。

### どこがヘン?

くどいようですが、「返却日」は「期限日」に修正しませんか? (返却日は実際に返却処理した日の意味で使っている用語だから。「返却日」は用語改善課題の堂々全国第一位。);

### 貸出期限票?

図書館グッズ

## 禁帯出

### 新宿区立図書館

<http://www.city.shinjuku.lg.jp/library/index.html>

### OPAC

<https://www.library.shinjuku.tokyo.jp/opac/cgi-bin/index?0>

### (3)デザイン

世田谷区立図書館

<https://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/>

## 【3】ホームページづくりの基本

### ●ホームページ

仁上幸治著『図書館員のための PR 実践講座一味方づくり戦略入門』

樹村房(2014年10月30日刊行)

判型:A5判、ページ数:120p、価格:1,500円(税別)、ISBN:978-4-88367-239-4

### 第16章

ホームページは図書館の新しい顔  
デザインは何より基本に忠実に!

ホームページづくりの基本

ウェブ・ユーザビリティの原則

ウェブサイトの使い勝手の良さ

中上級レベルの目標

目立つ

目新しさ

独創性

「利用案内」

3つの層(レベル)

1 ホームページ作り一般に共通する基本的な原理原則

2 図書館というサービス機関固有の共通する情報提供項目と内容・構成

3 自館ならではの存在感を訴求するための特徴・個性

### 1. ホームページ作りの一般的な原理原則

ウェブ・ユーザビリティ

第一人者であるヤコブ・ニールセン

利用者の立場に立った情報提供

10のポイント

1 ウェブの一般的なルールを尊重する

ページ構成

ボタンの位置

各要素の名称など

わかりやすさ

操作のしやすさ

また利用したいと思わせる

2 詰め込みすぎを避ける

隙間がないレイアウト

利用者がうんざり

全体把握

余裕のあるレイアウト

文章3つのポイント

(1) 簡潔に。印刷用文書の50%以下の文字量でまとめる。

(2) 斜め読みができるように、短く段落を区切って見出しを付ける。

(3) 複数ページに分ける。ハイパーテキストとしてリンクする。

3 ページ幅固定を避ける

スクロールは少ないほど見やすい

4 複雑で長いURLを避ける

覚えにくいURL

検索エンジン対策

20~50文字に

5 勝手な造語を避ける

サービス内容

ボタン名

ニールセン

「幸い、最近は見かけなくなってきた」

図書館界では?

6 古いコンテンツは整理する

新旧がはっきりわかるように整理

過去の実績はアーカイブとして保存・公開

計画書や報告書の類

イベントや研修

案内ページ

アンケート調査結果

その分析評価

7 わかりやすい言葉使い

1段落に1テーマ

文章の構造はシンプルに

結論から先に述べる

軽いタッチ

たとえ話やダジャレは避ける

8 ページタイトルを考える

明快な言葉

異なるページには異なるタイトルを

単純でも十分な意味を持つ言葉を検索しやすい

動機付けになるような

9 見出しを考える

コンテンツのごく短い概要

目を引きつける見出しを

誘い文句よりわかりやすい用語を

10 可読性の問題

背景は単色か薄い模様

文字色と背景色はコントラストを強めて

誰にでも読める大きい文字

点滅や拡大縮小などをせず

固定したサイズで

障害者や高齢者に対する配慮

専用ページ

誰もが実用的に使える

## 2. 情報サービス業界での差別化

## 図書館固有の情報項目と内容・構成

経営環境の厳しさ  
図書館の存在理由の見直し  
独自の価値の対外的訴求

独自の存在感を考える視点

サービス競争相手  
書店  
検索会社  
コンビニ  
レンタルビデオ業

総合コストの比較による選択  
費用  
時間  
手間など

ブランディングの基本  
競合する他業種との違いを明確化すること

図書館業界全体のアイデンティティ  
明快なコンセプトとして言語化  
さまざまなアイテムのデザインとしてビジュアル化  
デザインニング

貸出サービス  
相談サービス  
市民活動支援(ビジネス、就活、子育てなど)  
イベント会場貸出サービス  
地域ネットワークの拠点など

新規領域の開拓  
小布施町立図書館(長野県)  
「Library of the Year 2011」を  
\*小布施町立図書館に関する参考文献  
『はなぼん ?わくわく演出マネジメント』花井 裕一郎著/文  
屋/ 2013.1

### 3. 自館ならではの存在感を訴求するための特徴・個性

自館の個性  
平凡でありきたりではない、個性的なデザイン  
都道府県あるいは市町村単位の図書館群の全体的な共通  
性が前提  
共通性の中での他館との差異を表現  
×ホームページ担当者のデザインセンス

1 まずはブランド要素を明確にすることが大切

CI(コーポレート・アイデンティティ)の視点

自館のビジュアルアイテム全体を統合的なシステム  
他のアイテムとの整合性

ホームページのデザイン

ブランド要素  
ブランド・ネーム  
ロゴとシンボル

キャラクター  
スローガン  
パッケージなど

2 親組織のデザイン統合に整合性を持たせよう  
親組織のホームページの全体的なデザイン統合との整合性  
親組織の大目的の実現に向けて一致協力して取り組む協  
働チーム

分館の個性  
親組織の図書館群全体に共通するデザイン原則を適用  
地域密着型の有用情報(地域の特性、利用者層の特性)  
他の分館との違いを明確化する

### 4. パスファインダーの提供

情報の探し方ガイド  
市民の情報リテラシー支援サービス有用ツール  
地域密着型の有用情報

図書館内外の情報探索ニーズ  
学校連携  
社会教育連携  
子育て支援など

レファレンスサービスという待ちの姿勢  
レファレンス記録の集積を元データとして  
調べ方ガイドをシリーズ展開  
ホームページ上に公開

パスファインダー  
ホームページ上の情報  
図書館自体の存在感を強化  
スタッフの存在感も強化

情報のプロとしての図書館員の専門性訴求  
サービスは人のためならず!  
自分自身の地位・待遇  
社会的評価  
プライド

### 【4】ホームページの問題

ホームページ固有の問題  
ウェブデザイン  
案内・説明・誘導機能  
教育機能  
アイデンティティ訴求機能

ホームページの要素  
ヘッダー  
目次  
見出し  
小見出し  
図  
表  
リンク集

ホームページの種類  
総合案内  
案内

説明  
誘導  
教育  
注意

#### (1)URL の名称と長さ

国立国会図書館

<http://www.ndl.go.jp/index.html>

NDL-OPAC

[https://ndlopac.ndl.go.jp/F/FE2YLFJMU4CCYHC18JBKI/XI6DCKBV5ICB51QSIVFIFK7U2SX5-03016?func=file&am p=&file\\_name=login&%3FRN=514866056&pds\\_handle= 簡易検索画面](https://ndlopac.ndl.go.jp/F/FE2YLFJMU4CCYHC18JBKI/XI6DCKBV5ICB51QSIVFIFK7U2SX5-03016?func=file&am p=&file_name=login&%3FRN=514866056&pds_handle= 簡易検索画面)

<https://ndlopac.ndl.go.jp/F/FE2YLFJMU4CCYHC18JBKI/XI6DCKBV5ICB51QSIVFIFK7U2SX5-03022?func=find-b-0>

詳細検索画面

[https://ndlopac.ndl.go.jp/F/FE2YLFJMU4CCYHC18JBKI/XI6DCKBV5ICB51QSIVFIFK7U2SX5-10445?func=find-a-0&local\\_base=gu\\_ss](https://ndlopac.ndl.go.jp/F/FE2YLFJMU4CCYHC18JBKI/XI6DCKBV5ICB51QSIVFIFK7U2SX5-10445?func=find-a-0&local_base=gu_ss)

#### (2)アクセス目玉商品

図書館員がアクセスしたくなる

外部評価を逆輸入して内部評価を上げる作戦

役所にとって自慢

覚え違いタイトル集 福井県立図書館

福井県立図書館・文書館

<http://www.library-archives.pref.fukui.jp/>

福井県立図書館

[http://www.library-archives.pref.fukui.jp/?page\\_id=138](http://www.library-archives.pref.fukui.jp/?page_id=138)

覚え違いタイトル集

[http://www.library-archives.pref.fukui.jp/?page\\_id=368](http://www.library-archives.pref.fukui.jp/?page_id=368)

#### (3)書店と競う

STORY STORY 新宿店 | カフェ×雑貨×本屋さん | 有隣堂

<http://www.yurindo.co.jp/storystory/>

京都岡崎 蔦屋書店

<http://top.tsite.jp/lifestyle/lifetrend/i/27199872/>

京都岡崎 蔦屋書店オープン

写真: 島津 利雄さん

京都のみなさんお待たせ！ ついに「蔦屋書店」が京都に OPEN します

pranaria\_kawaii2016年1月6日

<https://retrip.jp/articles/22081/>

<https://retrip.jp/items/11365631/>

京都市「ミナポート」

<http://www.minaport.jp/>

幕張新都心コミュニティサイクル マックル | 千葉市観光ガイド

<http://www.chibacity-ta.or.jp/about-macle>

岡山市コミュニティサイクル ももちやり

<http://momochari.jp/>

金沢レンタサイクル「まちのり」

<http://www.machi-nori.jp/>

#### (4)話題性と表紙のインパクト

草津町立温泉図書館

<https://www.kusatsu-onsen.ne.jp/cgi-bin/public/spot.cgi?id=33&t=2&c=0>

トップページ > 観光する > 観る/資料館・美術館 > 町立図書館

野原 海明

1月7日 15:16・Nagano 長野県 下高井郡・

草津町温泉図書館に到着。

<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=1067644199953754&set=a.224554587596057.75720.100001245512164&type=3&theater>

#### (5)サービス充実の自信

鳥取県立図書館

<http://www.library.pref.tottori.jp/>

### 【5】マーケティングとブランディングの視点

#### マーケティング

世界で一番読まれているマーケティング教科書！

コラー&ケラーのマーケティング・マネジメント基本編 第3版 著: フィリップ・コラー (Philip Kotler)

ケビン・レーン・ケラー (Kevin Lane Keller)

2008年12月20日 474p. 価格: 3,990円

#### ブランディング

ケラー, ケビン・レーン, 恩藏直人監訳『戦略的ブランド・マネジメント』第3版, 東急エージェンシー, 2010.845p, 7980円(税込)

#### ケラーの定義

「ブランディングは精神的な構造を創り出すこと, 消費者が意思決定を単純化できるように, 製品・サービスについての知識を整理すること」

「ブランディングにとっての鍵は, ある製品カテゴリー内で消費者が知覚するブランド間の差異である」

#### CI コーポレート・アイデンティティ

・中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略ーデザインが企業経営を変える』誠文堂新光社, 2010.4.

#### Paos (中西元男)

MAZDA

カラー

開発フロー

訴求優先順位

基準・体系・要素デザイン

基本・応用・マニュアル化

ベーシックシステムデザイン

CIS (VIS) Tree

名刺・帳票

便箋・封筒

屋外看板

サイン

車両

広告

制服・名札

店舗

バッジ

より高度な完成度を目指すには

・Web デザインディレクション講座～ユーザーエクスペリエンスコース～  
[http://www.sendenkaigi.com/class/detail/web-design-direction.php?utm\\_source=facebook](http://www.sendenkaigi.com/class/detail/web-design-direction.php?utm_source=facebook)

[k.com&utm\\_medium=sdkg\\_class&utm\\_campaign=web-design-direction20161101](http://www.sendenkaigi.com/class/detail/web-design-direction.php?utm_source=facebook)  
・宣伝会議: <http://www.sendenkaigi.com/>

- 1. 参考文献
- 2. 参考サイト
- 3. 講師紹介

## 第2部 事例報告

掛川市立中央図書館 主任 前田宏希氏  
「掛川市立図書館のホームページはこう作った」

## 第3部 対談

仁上幸治 vs. 前田宏希氏

### 対談まとめ

- 1) ホームページ改善の方針
- 2) ホームページ改善の優先順位
- 3) ホームページ改善の条件
- ・担当者の能力
- ・組織体制
  - 複数担当者制
  - 応援体制
  - 情報収集体制
  - 発信・増幅
- フィードバック

- ネーミング実践講座
- 図解力養成講座
- 戦略PR講座
- デジタル広報基礎講座
- ソーシャルメディア活用セミナー

### 【6】研修を考え直す

#### 技術的な研修

#### 今後の研修テーマ

- キャッチコピー講座
- 広告レイアウト講座
- パブリシティ講座
- ブランディングシミュレーション講座
- デザイン強化合宿講座
- 情報検索例題作成講座
- プレゼンテーション講座
- スライドショー講座
- アドボカシー講座

#### デザインインニング研修

- 山中湖情報創造館(2015年後半予定)
- 合宿+ワークショップ形式
- マーケティング・広告の専門家

#### 企業研修を見習う

- 宣伝会議の教育講座
- <http://www.sendenkaigi.com/class/>
- Web デザイン・ディレクション基礎講座
- Web ライティング実践講座
- Web 動画クリエイター養成講座
- コピーライター養成講座
- クリエイティブディレクション講座
- ブランディングクリエイティブ講座
- 宣伝・広告基礎講座
- シニアマーケティング講座
- 富裕層マーケティング講座
- ブランドマネージャー育成講座
- パッケージデザイン・ディレクション実践講座

### 【7】担当体制を作り変える

- 複数担当者制
- 応援体制
- 情報収集体制
- 発信・増幅
- フィードバック

### 【8】結論

#### ホームページ改善の大前提

- 土台は親組織の共通性
- 館の個性は土台の共通性の上に

#### ホームページ以前の問題の改善

- ユニバーサルデザイン優先
- 用語・表現に注意
- URL に注意

#### ホームページの勝負

- コンテンツで勝負
- 図書館界の外で評価を

#### 今日からの取り組み課題

- 1) 地域全体での改善プロジェクトの開始に向けて
- 2) ホームページ改善プロジェクトチームの立ち上げ
- 3) 年次活動計画案への落とし込み
- 4) 業務計画の提案・承認
- 5) フォローアッププログラムの随時実施
- 6) 改善成果報告会(1年後)

#### 目的

- ジリ貧状況を打開する
- 「味方を作る広報」

#### 関係再構築

- とにかく一歩目
- 例えばホームページから
- 図書館の視覚的要素全般への展開

部分的・段階的に

地域社会に認知されるには  
発想の転換  
斬新なアイデア  
大胆な提案

「やっちゃん NISSAN」  
2種類の間がある。  
やりたいことやっちゃう人と、やらない人。  
あんたどうする?

●TVCF 宣言 矢沢篇「やっちゃん NISSAN」。

<https://www.youtube.com/watch?v=w-wkm94KJ14>

今日のまとめ

図書館の「顔」はこれでいいのか  
～魅力を伝えるホームページの条件～

**\*ご案内**

トサケン  
ライブラリー・ファシリテーター講座  
仁上新刊サイン会

**■付録 1. 参考文献**

●図書館利用教育ガイドライン

- ・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドライン-図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p. ¥1500
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践-すべての図書館で利用教育を-(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会『問いをつくるスパイラル-考えることから探究学習をはじめよう!』日本図書館協会, 2011.9.

●オリエンテーション・講習会

- ・仁上幸治「大学図書館員のためのオリエンテーション技法:印象づけを重視した構成・演出の改善の試み」『医学図書館』52(1), 2005.3, pp.15-24.
- ・仁上幸治「オリエンはエンタメだ! -素敵な印象を伝えるプレゼンテーションを-」『学図研ニュース』No.229, 2005.3.1 (特集オリエンテーション) pp.2-5.
- ・仁上幸治「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けて-研究室知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試み-」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5. [全文]
- ・仁上幸治「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)-素材を集め、問題を作り、要点を説明する方法-」, 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践-すべての図書館で利用教育を-(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3, pp.88-108.

●広報・PR

- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部図書館サービス研究分科会広報グループ『図書館広報を考えなおす』, 1982.12.
- ・高橋昇・仲谷由香理・仁上幸治「新図書館とサインシステム計画」『早稲田大学図書館紀要』no.27, 1987.3, pp.58-90. [全文]
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブック-広報戦略の全面展開をめざして-』日本図書館協会発売, 2002.9 303p, ¥2381
- ・仁上幸治「ライブラリアンのための広報戦略マニュアル-専門性を訴求する5つのポイント-」『専門図書館』No.225 2007.9, pp.88-93.
- ・仁上幸治「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編)-レイアウト改善の5つのポイント-」『館灯』47, 2009.3.31, pp.124-129.
- ・仁上幸治「図書館を見違えるほど魅力的に! -少人数職場ならではの即効変身術-」『短期大学図書館研究』No.29 (2009), pp.49-53.
- ・仁上幸治「何を誰にどう訴えればよいのか」『専門図書館』2009(5), (239), 2010.1, p.2-7.(特集図書館アピール)
- ・仁上幸治「これからの「PR」の話をしよう-いまを生き延びるための図書館経営学-」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館のPR」)
- ・仁上幸治著『図書館員のためのPR 実践講座-一味方づくり戦略入門-』樹村房(★2014年10月30日刊行)

●広告

- ・谷山雅計『広告コピーってこう書くんだ! 読本』宣伝会議, 2007.
- ・宣伝会議コピーライター養成講座編『最新約コピーバイブル』宣伝会議, 2007.
- ・デンソウデザインタンク編著 後藤徹 監修『新アートディ

クター入門』電通, 2007.3

- ・姫路市立美術館, 凸版印刷株式会社印刷博物館編『大正レトロ・昭和モダン広告ポスターの世界:印刷技術と広告表現の精華』国書刊行会, 2007.7
- ・眞木準『胸からジャック。:心にささる一行メッセージのつくりかた。』大和書房, 2007.7
- ・オプスキュアインク『レイアウトデザインのルール:目を引くページにはワケがある。』ワークスコーポレーション, 2008.2
- ・堀内敬一『売れる! チラシのデザインルール』グラフィック社, 2006.6
- CIとブランディング
- ・ケビン・レーン・ケラー(恩蔵直人・亀井昭宏訳). 戦略的ブランド・マネジメント. 第3版. 東急エージェンシー出版部, 2010.
- ・菅谷明子『未来をつくる図書館:ニューヨークからの報告』岩波書店, 2003(岩波新書 新赤版 837). 735円
- ・中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略-デザインが企業経営を変える』誠文堂新光社, 2010.4.
- ・仁上幸治「図書館の魅力は細部に宿る-「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略-」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14.

●図書館グッズ

- ・図書館サービス・ツール研究会編著『ライブラリー・グッズの調査・研究と企画・開発』(平成21年東京都図書館協会研究助成報告書), 2010.2, 33p.
- ・仁上幸治「グッズが図書館を元気にする! -暗い状況でも楽しめる最強秘密兵器-」(特集 ライブラリー・グッズ) [聞き手:鈴木正紀]『大学の図書館』426, 28(5), 2009.5, pp.70-75.
- ・仁上幸治; 中島玲子; 石川敬史「笑顔を生み出す「魔法」の戦略ツール-図書館グッズの研究・開発・普及活動-」『薬学図書館』55(2), 2010.4, pp.94-101.

●プレゼンテーション

- ・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門-プレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーバックスCD-ROM), 講談社, 2003, ¥1,995
- ・ブルボン小林『ぐつとくる題名』中央公論新社, 2006.9(中公新書)
- ・諏訪邦夫『発表の技法-計画の立て方からパソコン利用法まで-』講談社, 1995(ブルーバックス B-1099), ¥760.
- ・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書, 2003.7 ¥850.
- ・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術-意図を正しく伝えるための16のルール-』講談社, 1999.3(ブルーバックス, B-1245)
- ・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術-最強のプレゼンテーション15のルール-』講談社, 2002.10(ブルーバックス, B-1387)
- ・ボブ・ボイルン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBSブリタニカ, 1993. ¥1300.
- ・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社, 1999. ¥800. (講談社ブルーバックス B-1245)
- ・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10-話して伝える, 書いて伝える, 図表で伝える』講談社, 2006.10
- ・岩永嘉弘『一行力』草思社, 2004.4

●指導演法

- ・岡本浩一『上達の法則-効率のよい努力を科学する』PHP研究所, 2002.5(PHP新書) ¥714
- ・多和田悟『犬と話をつけるには-駄目な犬の困った飼い主にならないために』文藝春秋, 2006.6. (文春新書)
- ・中野民夫『ワークショップ-新しい学びと創造の場-』岩波



- 書店,2003.04(岩波新書)  
 ・畑村洋太郎『「失敗学」事件簿—あの失敗から何を学ぶか』小学館,2006.4, ¥1300  
 ・吉田新一郎『効果10倍の「教える」技術: 授業から企業研修まで』PHP研究所,2006(PHP新書)  
 ●『情報の達人』の歴史  
 ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』1992.11, pp.798-799.  
 ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8. 1993.8, pp.553-556.  
 ・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像—『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52.  
 ・仁上幸治『『図書館の達人』から『情報の達人』へ—利用者教育映像教材の進化 15年の集大成』『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.  
 ・『情報の達人』ホームページ: <http://www.kinokuniya.co.jp>  
 (左メニュー下方に入口)  
 ●ホームページ

- 1)ニールセン、ヤコブ『ウェブ・ユーザビリティ: 顧客を逃がさないサイトづくりの秘訣』エムディエヌコーポレーション;インプレスコミュニケーションズ[発売], 2000.
- 2)ニールセン、ヤコブ『新ウェブ・ユーザビリティ: Web2.0時代に優先すべき最重要ルール』エムディエヌコーポレーション;インプレスコミュニケーションズ[発売], 2006.
- 3)ニールセン、ヤコブ『ホームページ・ユーザビリティ—顧客をつかむ勝ち組サイト32の決定的法則』エムディエヌコーポレーション;インプレスコミュニケーションズ[発売],2002.
- 4)ニールセン、ヤコブ『ユーザビリティエンジニアリング原論—ユーザーのためのインタフェースデザイン』東京電機大学出版局,2002.
- 5)ニールセン、ヤコブ『マルチメディア&ハイパーテキスト原論—インターネット理解のための基礎理論』東京電機大学出版局,2002.
- 6) ニールセン、ヤコブ『モバイル・ユーザビリティ 使いやすさのUIデザインの秘訣』翔泳社, 2013.
- 7) 篠原 稔和・上野 学『SEのためのSEのためのUIデザインの教科書』日経BP社, 2015.12.

## ■付録2. 参考サイト

### 【1】広告

- ・京都広告塾 編『巧告。: 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京: インプレスジャパン, 2007.8 <http://www.impressjapan.jp/books/2442.php>
- ・京都広告塾 編『効告。: 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京: インプレスジャパン, 2007.11 <http://www.impressjapan.jp/books/2483.php>
- ・京都広告塾 編『考告。: 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京: インプレスジャパン, 2007.10 <http://www.impressjapan.jp/books/2459.php>

### 【2】広告アーカイブ

- ・新聞広告データアーカイブ:  
<http://www.pressnet.or.jp/adarc/data/>
- ・動画NOW!! CM 企業 一覧:  
<http://www.doga-now.com/company/>
- ・宣伝会議:<http://www.sendenkaigi.com/>
- ・PRIR:  
<http://www.sendenkaigi.com/hanbai/magazine/prir/>
- ・百式 POP\*POP 広告・マーケティング カテゴリー:  
<http://www.popxpop.com/archives/cat19/>

### 【3】デザイン

- ・服部デザイン研究所:「THE Know-How」レイアウト能力:  
[http://wwwweb.jp/hdi/data/pc/dtl\\_lyt.html](http://wwwweb.jp/hdi/data/pc/dtl_lyt.html)
- ・増田デザイン事務所 Masuda Design Office:  
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/index.html>
- ・グラフィックデザイン:  
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/graphic5.html>
- ・MdN: <http://www.mdn.co.jp/content/view/6/18/> または <http://www.mdn.co.jp/content/category/38/27/55/>
- ・グラフィックデザイン:  
<http://www.mdn.co.jp/content/blank/89/130/>

### 【4】編集

- ・松岡正剛事務所 セイゴオちゃんねる:

- <http://www.isis.ne.jp/seigowchannel/>
- ・編集工学研究所: <http://www.eel.co.jp/>
- ・イシス編集学校: <http://es.isis.ne.jp/>
- ・松丸本舗: <http://www.matsumaru-hompo.jp/>
- ・松岡正剛の千夜千冊: <http://1000ya.isis.ne.jp/>

### 【5】CIとブランディング

- ・パオス: <http://www.paos.net/>
- ・佐藤可士和: <http://kashiwasato.com/>

### 【6】編集・広告の学校

- ・編集の学校/文章の学校: <http://www.editorschool.jp/>
- ・～編集の現場から～ 文章上達のための練習問題:  
<http://www.raichosha.co.jp/mm/sentence.html>
- ・宣伝会議: <http://www.sendenkaigi.com/>
- ・宣伝会議の教育講座:  
<http://www.sendenkaigi.com/kyoiku/>

### 【7】プレゼンテーションの方法を学ぶ

- ・Presentation.jp(プレゼンテーション総合サイト):  
<http://www.presentation.jp/index.html>
- ・資料作成:  
<http://www.presentation.in/prin/knowhow/sirvou/tran nnt.html>
- ・高橋メソッド: <http://www.rubycolor.org/takahashi/>

### 【8】企業ホームページの見本

- STORY STORY 新宿店 | カフェ×雑貨×本屋さん | 有隣堂  
<http://www.yurindo.co.jp/storystory/>
- 京都岡崎 蔦屋書店  
<http://top.tsite.jp/lifestyle/lifetrend/i/27199872/>
- 東急スポーツオアシス  
<http://www.sportsoasis.co.jp/fitness.html>
- ライザップ公式サイト  
<http://www.rizap.jp/>
- 以上

## ■付録3. 講師紹介

- 仁上幸治 (にかみ・こうじ): 図書館サービス計画研究所 代表/元・帝京大学総合教育センター准教授/元・早稲田大学図書館司書/非常勤講師歴(法政大学・亜細亜大学・東京家政大学・桜美林大学・和光大学・玉川大学)  
 講演生涯合計 204本(2015年12月31日現在)  
 ◎電子メール: [nikamikoji@yahoo.co.jp](mailto:nikamikoji@yahoo.co.jp)  
 ◎ホームページ: <http://sites.google.com/site/nikamik23/>  
 ◎図書館サービス計画研究所(略称トサケン): <https://sites.google.com/site/tosaken23/>  
 ◎教材開発: ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』全3巻(DVD), 紀伊國屋書店,2007.2.

### ◎著書

- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サ-

- ビスのために(合冊版)』日本図書館協会,2001.8, 81p: ¥1500
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分

科会『図書館広報実践ハンドブック-広報戦略の全面展開をめざして-』日本図書館協会発売,2002.9 303p, ¥2381

- ・戸田光昭[他]共著『改訂 専門資料論』樹村房,2002.10(新図書館学シリーズ第8巻),¥1900
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会,2003.3
- ・三浦逸雄,野末俊比古(共編著)『専門資料論』新訂版,日本図書館協会,2010.3(菅野育子,高橋昇,仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ,II-8)
- ・大学導入教育研究会編『よくわかるライブデザイン入門-大学生のための必須学習術-』第二版,古今書院,2011.2.10.120p,¥1900.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践-すべての図書館で利用教育を-』(JLA 図書館実践シリーズ;14)日本図書館協会,2010.3
- ・仁上幸治『図書館員のためのPR実践講座-味方づくり戦略入門-』樹村房(2014年10月30日刊行)★初単著

### ◎最近の論文 \*多くは著者ホームページで全文公開

- ・「研究文献レビュー」『図書館の「広報」は進化しているか? -説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践-』『カレントアウェアネス』No.305,2010.9,pp.16-24 [CA1728] HTML版: <http://current.ndl.go.jp/cal728>
- ・「情報リテラシー底上げ奮闘記-自習時間ほぼゼロ学生のための論文・プレゼン指導-」『帝京大学総合教育センター論集』(2),2011.3,pp.83-105.
- ・「図書館の魅力は細部に宿る-「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略-」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1),2011.3,pp.8-14.
- ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の形成-日本版ガイドラインの作成過程を中心に-」『日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱』(2011.5.14),pp.91-94.
- ・「これからの「PR」の話をしよう-いまを生き延びるための図書館経営学-」『病院図書館』30(3),2011.5,pp.124-132.(特集「図書館のPR」)
- ・「マルチメディアのフル活用による双方向授業の試み-スライドショー,映像教材,ファイル配布・提出,アンケートの各システムを使い切る-」『帝京大学情報処理センター年報』(13),2011.3.31,pp.77-91.(実刊行日:2011.7.25)
- ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の射程-情報リテラシー教育という枠組みの可能性と限界-」『日本図書館情報学会秋季研究集会発表要綱』(2011.11.12),pp.53-56.
- ・「学校図書館のブランディング戦略-評価されるためにギリギリまで工夫を!-」『学図研ニュース』No.326,2013.4.1,pp.2-6.
- ・「図書館長のための自分ブランディング講座-内外に味方を増やすキャラクターの作り方-」全国公共図書館協議会研究集会講演録(2013.06.28-東京都立中央図書館)
- ・「情報リテラシー教育を担う小中学校教員をいかに養成するか-教職志望学生の徹底改造を目指す司書教諭科目からの提言-」『帝京大学総合教育センター論集』(5),2013,2014.3,pp.69-93.
- ・「忙しい図書館員のためのPC使い倒し「超」実用講座-省力効果絶大な便利技をマスターしよう!-」『短期大学図書館研究』33,2014.3,pp.107-122.(CD-ROM版あり)(2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会/精華女子短期大学)
- ・「情報メディアは作ってみればわかる-メディアリテラシー指導のプロ教師を育てる授業の工夫-」『帝京大学情報処理センター年報』(16),2013,2014.3.31(7.26刊行),pp.95-109.
- ・「驚くほど学生が集まる図書館演出術-少人数職場だからこそ今すぐできる即効アイデア-」『私立大学図書館協会中国・四国地区研究会報告書』第44回(2014年),pp.4-78.
- ・「指導場面での演出力はこれでいいか-教える側の情報リテラシーを問いただす-」『館灯』53号,47-65,2015-03-31

### ◎最近の講演(2015- )

- 18) 2015.08.19-世田谷区立図書館館長研修「「らしさ」を訴求するPR-図書館を核とする地域ぐるみの区民関係再構築-」世田谷区立中央図書館(東京都世田谷区)世田谷区立中央図書館(東京都世田谷区)
- 19) 2015.08.24-福岡県立図書館青少年読書推進講座「子どもたちの居場所になる図書館をつくる-どう図書館をPRしていくか-」福岡県立図書館(福岡県福岡市)[報告]
- 20) 2015.08.26-西日本図書館学会長崎県支部研修会「図書館ブランディング入門講座」長崎市立図書館 新興善ホ

ール 洋会議室(長崎県長崎市)

- 21) 2015.09.04-私立大学図書館協会西地区部会阪神地区協議会研究会「今、あらためて大学図書館職員の働き甲斐を問う」「大学図書館職員の栄光と苦悩-内面を支える秘かな愉しみ-」梅花女子大学山草館(F棟)601教室(大阪府茨木市)[報告]
- 22) 2015.09.29-図書館パートナーズ「図書館員のためのファシリテーション実践講座:PR編」日比谷図書文化館(東京都千代田区)[案内]
- 23) 2015.10.02-長野県立高校学校司書研修会「高校司書のためのPR実践講座-魅力訴求作戦の全面展開に向けて-」長野県県庁講堂(長野県長野市)
- 24) 2015.10.03-長野県図書館協会大学専門図書館部会図書館研究会 研修会「ビジュアルデザインの質を上げる」講演「図書館員のためのPR実践講座-情報は見た目が9割-」県立長野図書館 会議室(長野県長野市)[案内]
- 25) 2015.11.02a-九州女子大学授業(矢崎美香先生)ゲスト講演 1「情報資源組織演習II」(北九州市)
- 26) 2015.11.02b-九州女子大学授業(矢崎美香先生)ゲスト講演 2「情報サービス論」(福岡県北九州市)
- 27) 2015.11.02c-日本施設協会-図書館流通センター共同企業体 図書館ブランディング実践研修「図書館のブランディングの応用実践に向けて-成功と失敗の分かれ道を知る-」北九州市立八幡西図書館 1階 セミナールーム(福岡県北九州市)
- 28) 2015.11.03-大学図書館問題研究会 福岡支部「プチマイブランディング披露!+ 教えて仁上さん-「映像の中のトンデモ図書館員たち」を見てブランディングを考える-」佐賀大学附属図書館(本庄キャンパス)(佐賀県佐賀市)
- 29) 2015.11.09-静岡県図書館大会「図書館サービス」分科会「図書館の魅力を上手に伝える-PR(パブリックリレーション)による味方づくり戦略入門-」静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」(静岡県静岡市)
- 30) 2015.11.10(火)10:00-11:30-図書館総合展フォーラム 日経 BPI利用者が増える!学生が伸びる!大学図書館のPR術&成果につながる図書館リソースの活用事例~学修・就活支援と情報リテラシーの向上につながる専門記事データベースの活用~」パシフィコ横浜フォーラム第5会場(アネックス205)(神奈川県横浜市)
- 31) 2015.11.12(木)10:00-11:30-図書館総合展フォーラム 図書館パートナーズ「図書館員のためのファシリテーション実践講座-市民の図書館認知度を格段に上げる手法-」パシフィコ横浜フォーラム第1会場(アネックスホール201)(神奈川県横浜市)[案内] ★講演通産 200本目★
- 32) 2015.11.20-TRCスタッフ研修2「打って出る広報」が図書館を救う!-ジリ貧状況を打開する関係再構築の方法-」TRC本社(東京都文京区)
- 33) 2015.11.26-文部科学省 図書館地区別研修(北日本地区)「図書館ブランディング入門-逆風の中で存在感を高める地域内連携作戦づくり-」(仮題)、主催:北海道立図書館、会場:札幌市中央図書館(北海道札幌市)
- 34) 2015.11.27-北海道大学図書館職員研修「図書館員のためのPR実践講座-外堀を埋めながら本丸を攻める-」(仮題)北海道大学図書館(北海道札幌市)

2015年12月まで合計204本

### ◎講演予定

2016年

- 1) 2016.01.13-千葉県公共図書館協会 ホームページを改善する(仮題)浦安市立中央図書館(千葉県浦安市)
- 2) 2016.01.15-世田谷区立梅丘図書館改築基本構想策定委員会(2)「梅丘図書館機能検討ワークショップ」問題提起、梅丘パークホール(東京都世田谷区)
- 3) 2016.01.21a-文部科学省 図書館地区別研修(近畿地区)「図書館ブランディング入門-味方を増やす地域戦略-」兵庫県立図書館(兵庫県明石市)
- 4) 2016.01.21b-【KLL】仁上幸治さんと語る交流会「映像の中のトンデモ図書館員たちPart2(アニメ・CM編)」Biz Library(ビズライブラリー)(大阪府大阪市)
- 5) 2016.02.15-川崎市立図書館研修「図書館サインの徹底見直し」(仮題)川崎市立宮前図書館(神奈川県川崎市)
- 6) 2016.02.26-長岡市立図書館職員研修「パスファインダー

超簡単講座」長岡市立図書館(新潟県長岡市)

(にかみ・こうじ／配付資料／2016.11.6 作成)■□■